

令和4年度進行管理・評価シート
浜松市歴史的風致維持向上計画（令和4年3月25日認定）
（最終変更：令和5年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 浜松市景観形成基本計画等との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業	3
2 光明山古墳保存活用事業	4
3 蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト	5
4 浜松城跡保存活用事業	6
5 三岳城跡保存活用事業	7
6 歴史的建造物保存活用事業	8
7 龍潭寺山門保存修理事業	9
8 寶林寺仏殿・方丈管理事業	10
9 旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)管理運営事業	11
10 鴨江アートセンター(旧浜松警察署)管理運営事業	12
11 歴史的集落・まち並み景観保全対策事業	13
12 指定棚田地域の保全	14
13 秋葉山表参道の美装化	15
14 無形民俗文化財保存・伝承事業	16
15 無形民俗文化財公開・活用等事業	17
16 無形民俗文化財活性化支援事業	18
17 浜松市地域遺産センター整備事業	19
18 浜松市認定文化財活用事業	20
19 文化財防災ボランティア養成事業	21
20 指定文化財等のデジタルアーカイブ事業	22
21 中山間地域の魅力発信事業	23
22 浜名湖観光圏整備推進事業	24
23 浜名湖ガーデンソールズム推進事業	25
24 浜名湖「湖北五山めぐり」推進事業	26
25 浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進事業	27
26 佐鳴湖漕艇活動顕彰事業	28
27 「直虎レガシー」伝承事業	29
28 重要文化財宝林寺活用事業	30
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用	31
2 文化財及び文化財保存活用施設の管理	32
3 文化財の保存及び活用の普及・啓発	33
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	34・35
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 住民意識や認知度の向上	36

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 37

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度 令和4年度

項目 現在の状況

計画の推進体制

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

計画策定を担っていた「浜松市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会」を「浜松市歴史的風致維持向上計画推進庁内会議」と改編し、行政内部における計画の進行管理及び連絡調整を行うこととする。計画変更に関わる検討事項がある場合は、「浜松市歴史的風致維持向上協議会」のほか、関係する附属機関に意見を求めるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「浜松市歴史的風致維持向上計画推進庁内会議」を開催し、行政内部における計画の進行管理及び連絡調整を行った。(1回) また、「浜松市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)」を開催し、各事業の進捗報告における意見聴取を行った。(1回)

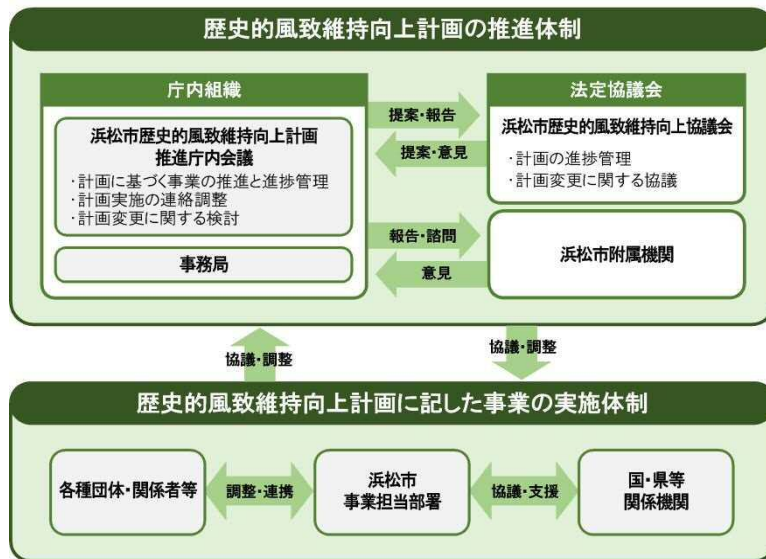
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歴まち法は、国土交通省、農林水産省、文化庁の三省庁共管の法律であり、連携して取り組んでいくことが重要なものである。庁内の連携した取組みを課題とする。

状況を示す写真や資料等



計画の推進体制



歴史的風致維持向上協議会開催風景

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
浜松市景観形成基本計画等との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

○歴史的風致の維持・向上により、歴史・文化を生かした個性と魅力ある都市を形成する
 ○良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項などを示すとともに、地区の特性に応じた景観誘導を図る

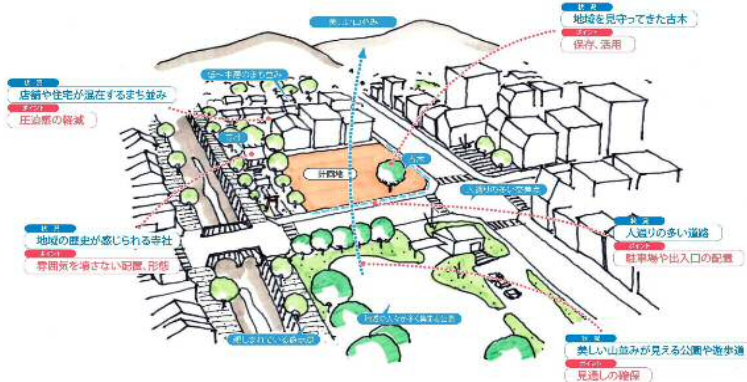
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○景観、屋外広告物、緑の保全及び育成並びに風致の維持に関する事項の適正かつ円滑な運営を図る目的により、定期的に景観審議会を開催(令和3年:2回、令和4年:2回)
 ○平成20年策定の浜松市景観計画に基づき、一定規模の建築行為等に対し地区の特性に応じた景観誘導を行った(届出件数 令和3年:150件、令和4年:○件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●計画地の状況をまわりの景観から読み取り、その地に合った景観誘導を行う



◆浜松市景観審議会
 <審議会委員構成> 大学教授、関係行政機関、弁護士、学識経験者等 計10名
 <過去の議題一覧>
 ・令和3年 浜松市歴史的風致向上計画(案)に対するパブリックコメントの結果について等



▲浜松市景観審議会の様子

□ 届出が必要な行為・規模

届出対象行為	
建築物	・高さ(※1) 15mを超えることとなる建築物 ・同一敷地内における建築物の建築面積の合計が 1,000 ㎡を超えることとなる建築物 (当該建築物と一体となる工作物を含む) (当該行為の部分の延べ面積の合計が 10 ㎡以下の場合を除く)
工作物	・高さ(※2) 15mを超えることとなる工作物 (当該工作物と一体となる建築物を含む)
土の採取等	・行為を行う地区の面積が 1,000 ㎡以上または土の数量が 2,000 ㎡以上の行為 ・行為を行う区域及びその周辺の地域が平地の場合で、断面の高さが 2m 以上のもの又は深さが 1m 以上のもの

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和11年度		
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	総合調査及び保存活用計画に基づき、整備基本計画を策定した後、二俣城跡及び二俣城跡周辺の整備事業を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に策定した「史跡二俣城跡及び鳥羽山城跡整備基本計画」に基づき今後の整備工事のための基本設計作業を進めたほか、指定地内の樹木の適切な管理と整備のための樹木整備基本計画を策定を進めた。また、石垣安定度調査や環境整備事業も継続して実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和5年度は、整備工事の実設計に伴う測量調査及び発掘調査を実施する予定である。また、石垣安定度調査や環境整備事業も継続して実施する。		
状況を示す写真や資料等			
第1期～第2期整備計画図			
<p>二俣城跡</p>		<p>鳥羽山城跡</p>	

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
	光明山古墳保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 史跡光明山古墳について、適切な保存と維持管理及び活用のための方針・手法・現状変更の取扱基準などを定める。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

史跡の適切な管理と保存のため、令和2年度に実施した古墳墳丘部の公有化（買収）に続き、令和4年度は古墳周辺斜面地の公有化（寄附）を実施した。また、見学環境を整えるための除草や低木伐採等の環境整備事業も継続して実施した。

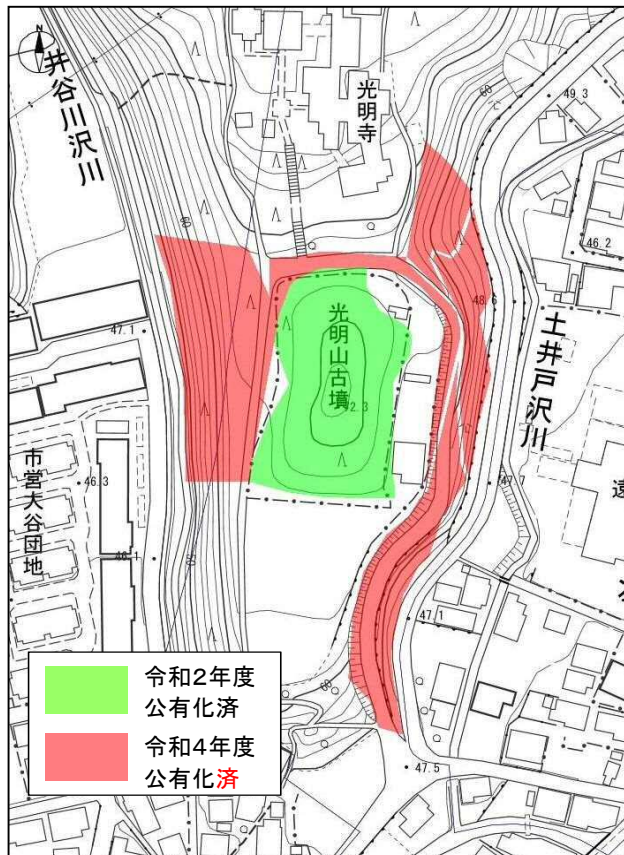
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

環境整備の実施など史跡の適切な管理に努めるとともに、その方針・手法・現状変更の取扱基準の作成に向けた内部協議を実施していく。



状況を示す写真や資料等

光明山古墳公有化範囲



光明山古墳（墳丘部）の現況



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	史跡蜷塚遺跡について、保存活用計画及び整備計画を定め、老朽化が進んだ施設の再整備を行い、合せて隣接する博物館、伊場遺跡の整備活用を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に策定した『史跡蜷塚遺跡保存活用計画』を刊行した。浜松市博物館夏季テーマ展「史跡蜷塚遺跡の過去・現在・未来」を開催した。また、『史跡蜷塚遺跡整備基本計画』の策定に着手し、有識者による検討会(年2回)や市民意見聴取(ワークショップ)を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	蜷塚遺跡の再整備事業と博物館リニューアル事業を有機的に連携させていく必要があり、今後その具体的な方策について検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>史跡 蜷塚遺跡 保存活用計画 Plan for Preservation and Utilization of Shijimizuka Site 浜松市 2022年3月 Hamamatsu City, March 2022</p>		 <p>全体的な現状と課題 ・既存建物の総括的野趣がなされていない ・過去の発掘調査記録や出土品の整理が不十分 ・遺構保護状況の把握が確でない ・サインが不統一 ・遺跡を分断するアスファルト道路 ・範囲が不明確な貝塚 ・景観再編を阻害している施設（貝塚展示施設） ・範囲が不明確な貝塚 ・根付いていない空地 ・景観再編を阻害している施設（貝塚展示施設） ・往時跡保存施設 ・老朽化した施設 ・現代的な付随物（花壇・石碑） ・根木・垣根など ・現代の付随物（花壇・石碑） ・根木・垣根など ・蜷塚遺跡のガイダンス機能が不十分</p> <p>蜷塚遺跡をめぐる現状と課題</p>	
		 <p>蜷塚遺跡が目指す姿 国の史跡を未来に向けて確実に継承するとともに、縄文時代の良境を伴う環境整備に関する調査研究を進め、その本質的価値を顕在化させることで、多くの人々が遺跡の魅力を感じられる姿を目指す。</p> <p>蜷塚遺跡における貝塚の範囲と主要施設の位置関係</p>	
『史跡蜷塚遺跡保存活用計画』			

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
浜松城跡保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市指定史跡浜松城跡の価値を高め、保存・活用することを目的に、発掘調査や文献調査などの詳細調査を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

今後の史跡の適切な管理と保存のため、「市指定史跡浜松城跡保存活用計画」の策定を進めたほか、浜松城跡の石垣の安全性を把握し、対策を講じるための石垣調査を継続して実施した。また、浜松城跡の歴史的評価について総合的に調査・研究するための総合調査に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

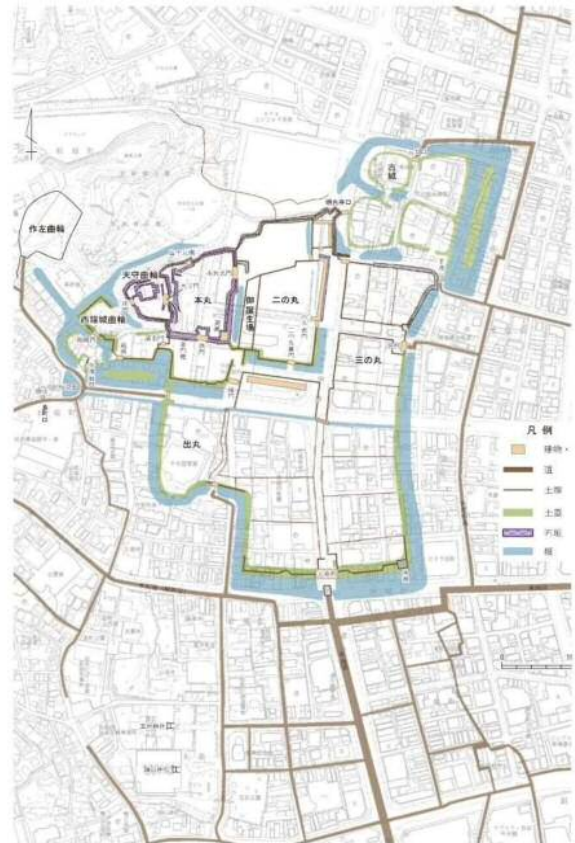
令和5年度以降も引き続き石垣調査と総合調査を継続の予定である。今後の浜松城跡の適切な管理と保存を行うための体制整備が課題であり、関係機関と協議を進めて行く。



状況を示す写真や資料等



浜松城跡本丸・天守曲輪



浜松城跡復元全体図



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
三岳城跡保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和12年度		
支援事業名	史跡等保存活用計画策定事業費		
計画に記載している内容	史跡三岳城跡について、指定範囲を明確にし、適切な保存と維持管理及び活用のための方針・手法・現状変更の取扱基準などを考える。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
事業実施の方向性について、庁内で検討中。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・実施時期、実施方法等は未定。 ・当史跡は指定範囲が広大で筆も多く、かつ指定時期が1944年と古いことから、所有者に対する説明等の難航が想定される。事業の効率的な遂行についての検討を継続的に実施する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
三岳城跡（三岳山）全景		三岳城跡（三岳山山頂）石柱標識	
			

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	有形文化財(有形の民俗文化財を含む)・国登録有形文化財・市の認定文化財(浜松地域遺産)など歴史的建造物の修理・修景により、歴史的風致の核となる建造物の保存及び活用を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
秋葉神社が所有する市指定有形文化財・秋葉神社神門の保存修理を行い、良好な状態で後世へ残し伝えるための3か年の保存修理工事が完了する見込み。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画的に修理を行うため、所有者との情報共有を図っている。また、緊急の保存修理が発生した際には応急処置及び速やかな保存修理の調整が必要となるため、関係機関等と連携して対応する。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>秋葉神社神門 部材修理(装飾彫刻)</p>			
 <p>秋葉神社神門 部材修理(装飾彫刻)</p>			

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
龍潭寺山門保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和5年度		
支援事業名	静岡県文化財保存費補助金、浜松市文化財保存事業費補助金		
計画に記載している内容	龍潭寺山門について、令和3年度に建物調査及び耐震計画作成を行い、令和4年度から2年間で保存修理を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に建物調査、及び耐震計画作成が終了した。令和4年度後半期の大河ドラマ「どうする家康」の放映を受け、拝観者の安全や観光に影響するため延期となり、工事は未実施。令和5年度以降を予定する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	工程と予算を組み直す必要が生じたため、再調整及び計画の変更が必要。		
状況を示す写真や資料等			
			
龍潭寺山門(現況)			

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
		寶林寺仏殿・方丈管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名	指定文化財管理事業、静岡県指定文化財管理事業費補助金		
計画に記載している内容	重要文化財寶林寺仏殿・方丈の防災設備の修理、及び、点検を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化財寶林寺仏殿・方丈を適切に維持するための防災設備について年2回の点検を行う予定で1回目は実施し2度目は本年度末に実施予定。また、防災設備を適切に維持管理するため、今後見込まれる修理計画について調整している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防災設備を適切に維持管理するため、継続して点検を行うとともに安定的に事業を進める。		

状況を示す写真や資料等



放水銃、避雷針、消火栓など防災設備の点検を実施した

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	浜松市指定有形文化財(建造物)である旧浜松銀行協会は、維持活用を目的に、浜松ゆかりの映画監督・木下恵介の記念館として建造物を維持したまま活用が図られている。今後も良好な景観が維持され、人びとが集うように事業を継続するため、指定管理者に管理運営を包括的に委託する。また、必要な時点で中長期的な文化財の維持保存を目指し、修繕などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度末で指定管理期間が満了となることから、次期(令和5年度～9年度)管理者を指定するための募集及び選定作業を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き建造物が活用されるよう、新たな指定管理者と情報共有を図る。		
状況を示す写真や資料等			
施設管理運営状況(イベント実施状況写真)			
			
特別展「正吉から恵介～木下恵介の映画人生のはじまり～」(その1)	特別展「正吉から恵介～木下恵介の映画人生のはじまり～」(その2)		
			
特別展「正吉から恵介～木下恵介の映画人生のはじまり～」(その3)	特別展「正吉から恵介～木下恵介の映画人生のはじまり～」(その4)		

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和4年度	
項目	現在の状況
鴨江アートセンター(旧浜松警察署)管理運営事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和4年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	浜松市認定有形文化財(建造物)である旧浜松市鴨江別館(旧浜松警察署)は、維持活用を目的に、鴨江アートセンターとして建造物を維持したまま活用が図られている。今後も良好な景観が維持され、人びとが集うように事業を継続するため、指定管理者に管理運営を包括的に委託する。また、必要な時点で中長期的な文化財の維持保存を目指し、修繕などを行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年度末で指定管理期間が満了となることから、次期(令和5年度～9年度)管理者を指定するための募集及び選定作業を行った。また、施設の長寿命化を目的とした外壁及び屋根改修(令和5年度)を行うため、設計を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き建造物が活用されるよう、新たな指定管理者と情報共有を図る。
状況を示す写真や資料等 施設管理運営状況(イベント実施状況写真)	
	
特別展「アーティスト・イン・レジデンス展 2014-2021 HERE AND NOW」(その1)	特別展「アーティスト・イン・レジデンス展 2014-2021 HERE AND NOW」(その2)
	
特別展「アーティスト・イン・レジデンス展 2014-2021 HERE AND NOW」(その3)	特別展「アーティスト・イン・レジデンス展 2014-2021 HERE AND NOW」(その4)

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的集落・まち並み景観保全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な集落や伝統的なまち並みなど本市の特徴的な景観地について、歴史的変遷、自然的環境及び生業・生活の調査を行うことで、景観地を形成する建造物や人々の営み・活動の現状を把握し保存対策の検討に活用する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
市域全域を対象に歴史的集落など特徴的な景観地の分布状況を確認した。このうち、伝統的な生活や生業と一体となった景観地の一部については現地確認を行い現状を把握した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市域が広域であることから計画的に調査を進めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
		 <p>おくないを伝承する山村(天竜区懐山)</p>	
		 <p>三ヶ日みかん開墾地(北区三ヶ日町)</p>	
		 <p>マキ囲いの集落(南区倉松町)</p>	

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和4年度
指定棚田地域の保全	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和13年度
支援事業名	指定棚田地域協議会事業、中山間地域等直接支払交付金(R3年度～滝沢、R4年度～久留女木)
計画に記載している内容	棚田地域振興法に基づき指定されている指定棚田地域において、適切な維持管理による棚田等の景観保全のほか、棚田等を軸とした地域活性化の取組を行う。指定棚田地域振興協議会を設立し、指定棚田地域振興活動計画を策定するとともに、国の認定を受けた上記計画に基づく活動を実施する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年2月、久留女木の棚田が国(農林水産省)の「つなぐ棚田遺産」に認定されるとともに、同年4月「久留女木地域振興協議会」が設立され、「指定棚田地域活動計画」の認定を受けた。活動計画に基づき、棚田の保全と地域活性化の取組を推進している。 滝沢集落についてはR3年度から、久留女木集落についてはR4年度から中山間地域等直接支払交付金事業を申請。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	棚田を核とした取組であることから、耕地面積の維持や耕作者の育成や、棚田の保全を通じた多面にわたる機能の維持、発揮をすべく定期的な景観形成や、鳥獣害被害対策が課題である。
状況を示す写真や資料等	
<p>【久留女木地域振興協議会】</p> <p>令和4年12月11日11時から総会を開催し、今後の協議会実施体制のあり方について諮り、構成員から賛同を得た。引き続き久留女木地域振興計画を推進する。</p>	
	
久留女木地域振興協議会の総会の様子	集合写真
<p>【久留女木棚田 収穫祭】</p> <p>令和4年12月11日13時30分から16時30分 地域住民と棚田耕作者、サポーター等関係協力者の交流と発展を目的とした収穫祭を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竜宮小僧サポーターへの返礼 ・ 静岡文化芸術大学引佐耕作隊の取組発表 ・ 棚田散策ツアー&大根抜き体験 	
	
収穫祭の様子	

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
	秋葉山表参道の美装化	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 秋葉山表参道(坂下宿周辺)の安全な通行を維持するため、歴史的まち並みと調和した修景防滑施工などによる空間整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

天竜区春野町領家地内の秋葉山表参道の路線(市道春野坂下秋葉線)について、道路美装化事業の関係者協議を行った。次年度(令和5年度)以降の実施に向けた設計を完了し施工計画図を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

景観に配慮し、安全かつ快適に秋葉山表参道を巡ることができる整備に向けて、防滑施工に努め、道路管理者及び自治会の同意を得たうえで進めていく。

状況を示す写真や資料等

◆秋葉山表参道美装化予定路線



整備イメージ



防滑塗装剤(自治会長と協議済)

令和3年度	第1期施工
令和4年度	関係者協議
令和4年度	第2期施工
令和6年度	第3期施工

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財保存・伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～令和13年度		
支援事業名	文化芸術振興費補助金、県補助金、市補助金		
計画に記載している内容	文化財指定などされている無形民俗文化財の保存継承・活用のため、必要に応じて学識経験者などの指導・助言を得ながら、伝承基盤整備、次代へ継承する取組などに対して支援する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
無形民俗文化財の伝承基盤整備のため、文化芸術振興費補助金を活用して8件の用具等更新、修理を実施。また、次代へ継承する取組として、浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会による児童・生徒・学生及び地域団体への継承活動について8団体程度への支援を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財としての価値を維持するため、行政担当職員及び学識経験者等の指導、助言を適宜行った。		

状況を示す写真や資料等



無形民俗文化財の用具更新
(寺野のひよんどり・太鼓の更新)



無形民俗文化財の用具更新
(横尾歌舞伎・衣裳・髪更新)



次代継承への取組(横尾歌舞伎 左・中央:三番叟の稽古、右:三味線の稽古)

評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財公開・活用等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内の歴史的風致を構成する祭礼や民俗芸能など伝統行事について、調査・記録の成果を公開するとともに活用する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

会報誌「遠江・山と里の民俗」の第19号、20号（各4000部）を発刊し、令和4年～令和5年にかけて行われた市内の歴史的風致を構成する祭礼や民俗芸能などの伝統行事の調査・記録の成果を市内及び関連団体等に配布。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

紙媒体だけでなく、デジタルデータや動画データでの公開を考慮した取材、撮影を行う。

状況を示す写真や資料等



会報誌「遠江・山と里の民俗」第19号

秋葉神社の火防祭（取材調査）



祭礼・民俗芸能の調査(左:川名のひよんどり、右:雄踏歌舞伎「万人講」)

民俗芸能の面調査

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財活性化支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 民俗芸能などの保存と振興の活性化を図るため、市を代表して民俗芸能などを披露する事業などに出場する団体に対する激励金の交付や、民俗芸能などを継承する団体の構成員を対象に、継承活動における課題を解決するため、相互の情報共有を図るとともに事例に基づく研修会を開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

民俗芸能などを継承する団体の構成員向けの研修会を静岡文化芸術大学との連携講座と合わせて開催し、同時に静岡文芸大学で開催する市内民俗芸能の古面展示を開催した。三遠南信念仏踊り・遠州大念仏競演事業を実施し、市外3団体市指定無形民俗文化財の遠州大念仏の同時上演を行った。また、外部公演等への出演4件（3月末見込）に激励金を交付（見込）。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの感染拡大防止と、休止を余儀なくされていた公演等への出演への支援を両立させる。
--	--

状況を示す写真や資料等



静岡文芸大学で開催した市内民俗芸能の古面展示(左:チラシ・中央:パネル展示・右:面の展示)



三遠南信念仏踊り・遠州大念仏競演事業(左:遠州大念仏・右:和合の念仏踊り)

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
	項目	現在の状況
	浜松市地域遺産センター整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内文化財に関する収蔵、調査、活用の拠点である地域遺産センターの改修工事を行い、文化財の保存及び企画展示や講座・講演会などの充実を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

施設や設備の老朽化等に伴う改修・修繕を随時実施し、施設や文化財の保存環境を整えている。また、年間を通して埋蔵文化財の調整・調査・整理作業等の業務を実施しているほか、通常展示や企画展示、体験事業やイベントの開催、講座や現地見学会の開催などを通じ、埋蔵文化財や地域の史跡などに関する情報発信、普及啓発を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

施設の老朽化に対する改修・修繕計画や、未改修である施設3階の活用計画の策定、展示内容や設備の更新、また感染症拡大防止に配慮しながらの運営の工夫などが課題となっており、継続的な対応が必要となっている。

状況を示す写真や資料等

浜松市地域遺産センター外観



館内展示の状況（井伊谷周辺の遺跡出土品）



出土品の整理作業



体験講座（夏休みキッズ考古学教室）



評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
浜松市認定文化財活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 従来の文化財保護制度(指定・登録など)とは別に「認定文化財制度」を設け、比較的ゆるやかに、かつ幅広く、保存と活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

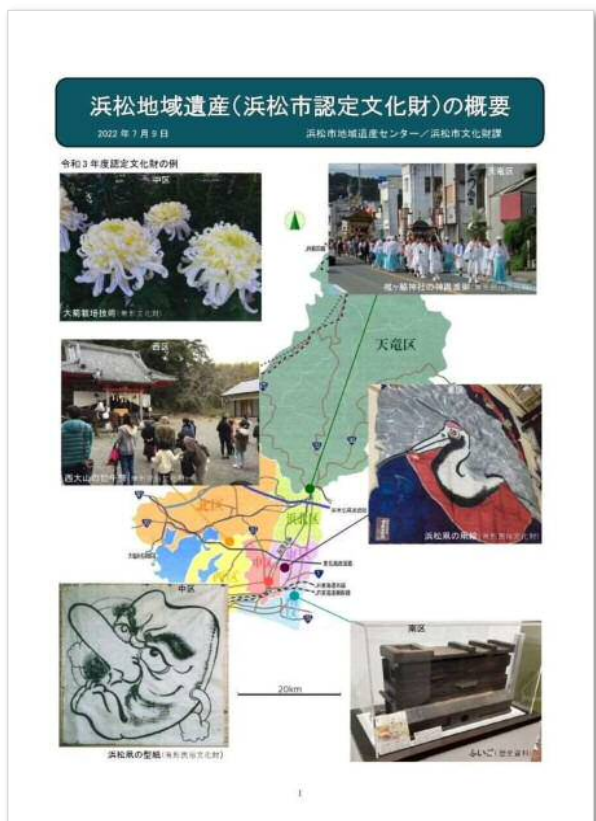
令和3年度末に新たに認定した90件を含め、累計545件の文化財を浜松地域遺産として認定した。令和4年度も6～9月の募集期間に153件の申請を受理している。令和4年度分の新たな認定は令和5年3月末の見込み。また、地域遺産センターにて、展示報告会「はままつ文化財速報展2021」を開催して認定文化財の概要を公開したほか、浜松市博物館のテーマ展「新指定文化財展」でも認定文化財制度導入の意義と概要を説明した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

毎年度募集、同年度内の新規認定を継続する。令和4年度の認定分は、令和5年度に地域遺産センターで紹介予定。
 ※令和4年度末に、110件程度を新規認定見込み。

状況を示す写真や資料等



展示報告会で配布した資料(部分)

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
		文化財防災ボランティア養成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	質の高いヘリテージマネージャーの養成と配置に資する取組を行い、災害時だけでなく平時から活動できる人材を養成する。		

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

これまでの文化財防災に加え、平常時から市内の文化財に関心を寄せてもらえるように、防災以外の講座も行うものとして、文化財サポーター制度を創設し、令和4年12月から募集を開始した。文化財サポーターガイダンス講座、文化財救済ボランティア講座（全2回）、歴史文化学習会（全2回）を開催する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2、令和3年度は、新型コロナ蔓延により講座開催を中止。どのような人材がどのくらい集まるか不明なため、登録者へのアンケートや講座参加者への聞き取りにより把握して、事業内容に反映させる。

状況を示す写真や資料等



浜松市文化財課主催

歴史・文化・自然を
活かしたまちづくり

文化財サポーターガイダンス講座

令和4年12月1日、地域全体で浜松の文化財を守るための、浜松市文化財サポーター制度が始まりました。サポーター登録した人へ浜松の文化財情報をメール等で配信し、講座・研修やボランティア等の活動に参加していただくしくみです。
この講座では、サポーター制度の説明と浜松市文化財保存活用地域計画の概要説明のほか、浜松市の文化財を取り巻く状況をより深く理解していただく講演を行います。この機会に浜松の文化財の全容と文化財の保存・活用への理解を深めていただければ幸いです。

講演 市民が支える文化財

—その保存と活用の未来—

令和5(2023)年
1/8
日曜日

講師 宗田好史 関西国際大学教授 京都府立大学名誉教授
(都市景観学、観光学)

少子高齢化や地域の過疎化などの社会状況の変化や突発的な災害など、近年の文化財を取り巻く環境は厳しものがあります。市内文化財の状況や他の自治体の事例などをお話しいただき、文化財サポーターが自ら楽しみながら文化財のためにできることを探ります。

13:30～16:00
浜松市地域情報センターホール
浜松市中区中央一丁目12-7
参加無料(事前申し込み制)

浜松の文化財のこれからについて
一緒に考えてみませんか?

対象 文化財サポーターに興味がある人(サポーターに登録する前の人でも参加できます)

定員 100人 ※応募多数の場合は抽選

応募締切 令和4年12月20日(火) 必着

応募方法 インターネットまたは往復はがきで。応募結果は12月27日(火曜日)までにご連絡いたします。
 <インターネットからの場合>
 浜松市ホームページ「文化財 講座」で検索 申込フォームから入力
 <往復はがきの場合>
 往復はがき1枚で4名様までお申し込みが可能です。 ※ネット予約と同様
 往信用文面に氏名、電話番号、送信用宛名面に郵便番号、住所、氏名を明記。
 送付先: 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2、浜松市文化財課1月8日サポーターガイダンス講座

その他 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、状況により予定変更・中止となる可能性があります

問合せ 浜松市市民部文化財課 bunka@city.hamamatsu.shizuoka.jp ☎053-457-2466 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
指定文化財等のデジタルアーカイブ事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者ほかあらゆる人々が文化財を鑑賞できる機会が得られるようデジタルアーカイブを充実させる。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度では文化財建造物のパノラマ画像データ、出土品の3次元データの作成及び市HPでの公開を行った（3月末見込）。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

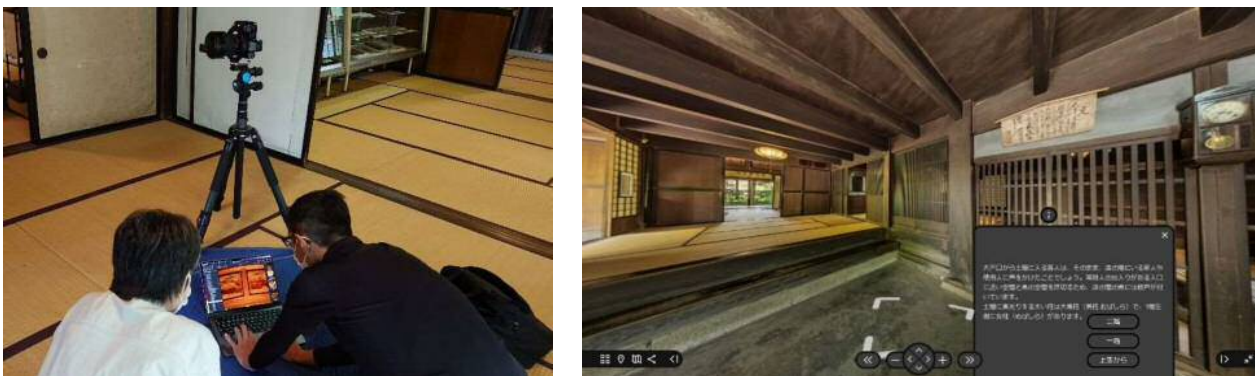
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

デジタルアーカイブで鑑賞できる文化財として公開データの質を確保するため、撮影方法の検討、事前準備等を十分に行う。

状況を示す写真や資料等



出土品の3次元計測(デジタルデータ公開用)



旧田代家住宅(国登録有形文化財建造物)のパノラマ画像データの作成(右は作成時のイメージ画像)

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
中山間地域の魅力発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業、浜松市中山間地域フェア実行委員会事業(「ザ・山フェス」のみ)		
計画に記載している内容	中山間地域の魅力をPRするイベントを市内都市部の会場で開催し、都市内交流の活性化とシティプロモーションの推進を図る。また、中山間地域の課題解決に取り組むための市民交流会議や市内間交流を促進するために中山間地域を巡るイベントを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市単独事業：中山間地域の課題解決に取り組むための市民交流会議や中山間地域の魅力を体感できるワークショップやクイズラリーの開催を通して、市内間交流を促進させた。 ザ・山フェス事業：中山間地域の魅力が詰まった冊子を作成し、プロモーションを実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ザ・山フェス事業：中山間地域のPR冊子を手にした市民が、地域へ足を運びたいくなるような冊子を作成した。		

状況を示す写真や資料等



中山間地域交流デラックス事業



はままつやまもりアドベンチャー



2023まちむらリレーション市民交流会議

評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
浜名湖観光圏整備推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和5年度		
支援事業名	浜松・浜名湖ツーリズムビューロー事業、静岡県補助金		
計画に記載している内容	地域の魅力発信と観光誘客のため、浜名湖観光圏のブランドコンセプトである「海の湖」を生かし、淡水と海水が混じり合う汽水湖である浜名湖ならではの着地型商品の企画と販売、サービスの質的向上、地域の人材育成、周遊促進、インバウンド対策などの施策を行い、観光地域づくりを推進する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
ブランド推進、広報宣伝、インバウンド推進、ガストロノミーツーリズム、海の湖カレッジ、インフラネットワーク、サイクルツーリズムの7つからなるワーキンググループによる事業の推進の実施。着地型旅行商品の企画・販売を実施し2022年4-12月で延べ792名参加。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ウィズコロナ、アフターコロナ(コロナと共生する社会)における観光振興施策の再検討。		
状況を示す写真や資料等			
			
景観保全のための地域事業者等と連携した清掃活動		歴史的資源を生かした旅行商品造成のためのファムツアー	
			
インバウンド誘致のための海外旅行社との商談会		来訪観光客に対するアンケート調査	

評価軸③-23 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
浜名湖ガーデンツーリズム推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和13年度		
支援事業名	浜松・浜名湖ツーリズムビューロー事業		
計画に記載している内容	令和元年4月に創設された庭園間交流連携促進計画登録制度〔通称〕ガーデンツーリズム登録制度)に登録されている『アメイジングガーデン・浜名湖』計画を推進する。「浜名湖からはじまる感動四季めぐり」をテーマに、花の公園や日本庭園と、食・グルメ、温泉、サイクリングなどのアクティビティなどを組み合わせることで、来訪者に感動を提供するガーデンツーリズムを展開する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
「アメイジングガーデン・浜名湖」を国内外へPRするため、日本語・英語・中国語（繁体字）でHPを運営。構成7施設のうち、有料5施設について共通入場券を販売。NEXCO中日本と連携し、高速道路と共通入場券をセットにしたプランの販売。 2023年春にむけて、ガイドブックの作成を実施中。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	2024年開催予定の浜名湖花博20周年記念事業との連携の検討。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
10 ————— 桜 浜松城公園		18 ————— さつき 龍潭寺	

評価軸③-24 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	
令和4年度	
項目	現在の状況
浜名湖「湖北五山めぐり」推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～令和13年度
支援事業名	浜名湖湖北五山連絡会事業
計画に記載している内容	奥浜名湖地域にある国指定の重要文化財をはじめ多くの文化財を有する5つの寺院(初山宝林寺、龍潭寺、方広寺、摩訶耶寺、大福寺)を総称して「湖北五山」という。浜名湖「湖北五山」として統一したプロモーションを展開することで来訪者の回遊性を高めるとともに、周辺の歴史文化資源と連携したツアーやイベントなどを企画・実施する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
コロナ禍において、各寺院の取組や考え方に相違があり、合同での企画には至らなかった。地域の観光協会を通じ、来訪者の確保に務めた広報活動を展開し、アフターコロナを見据えて他地域の動向に注意を払いながら企画を立案中。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ウィズコロナ、アフターコロナ(コロナと共生する社会)における観光振興施策の再検討。
状況を示す写真や資料等	

評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
		浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農産品・水産物のブランド化を図るため、食や食文化を基軸として、観光コンテンツを組み合わせた魅力を国内外に向けて情報発信し、本市への誘客・消費拡大を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
当地域の食文化をテーマとする小学生向け体験プログラム「伝えよう！浜松・浜名湖地域のふるさとの味」を開催した。また、インターネットによる情報発信の基盤整備のため、主として飲食店を対象として「Googleビジネスプロフィール活用ワークショップ」を開催した。その他、インバウンド需要取り込みのため、SAVOR JAPAN事業の中でバーチャルトリップを実施するなどした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回復しつつある観光需要を見据えて情報発信等を行っていく。		

状況を示す写真や資料等



「伝えよう！浜松・浜名湖地域のふるさとの味」リーフレット



「Googleビジネスプロフィール活用ワークショップ」

評価軸③-26 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和4年度
佐鳴湖漕艇活動顕彰事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	佐鳴湖を会場に行われた昭和32年の国体を契機に活動が盛んになった漕艇競技の魅力を市民に周知し、地域活動の活性化を図るため、講座・講演会などを開催する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・講演会事業を実施することができなかった。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	

評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
「直虎レガシー」伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台となった奥浜名湖地域の歴史文化を活用した魅力発信事業など、市民協働で地域活性化施策を展開する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年(2023)放送の大河ドラマ「どうする家康」を契機とした地域の活性化や新たな魅力の創出につなげるための事業を行った。
 事業名：三方ヶ原の合戦を紐解く
 ①「浜松市北区 徳川家康公ゆかりの地マップ」の発行
 ②小和田泰経氏講演会「史料から紐解く 三方ヶ原の合戦」の開催

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市民協働推進の観点から、三方原古戦場碑が所在するエリアのまちづくり団体(浜松北地域まちづくり協議会)と協働で制作・運営を行った。

状況を示す写真や資料等



浜松市北区 徳川家康公ゆかりの地マップ

小和田泰経氏講演会チラシ

評価軸③-28 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
重要文化財宝林寺活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成10年度～令和13年度		
支援事業名	重要文化財宝林寺活用事業実行委員会事業		
計画に記載している内容	宝林寺が所有する有形文化財(建造物や美術工芸品)を活用し、イベントや文化振興展、和楽器演奏会や煎茶教室などを実施する。境内の広場のほか伽藍を構成する重要文化財などの建造物を会場に、通常の文化イベントとは異なる特別なイメージや地域特性を演出する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
5月から6月にかけて「初山宝林寺開運まるしえ」「初山クラフトフェア」を開催した。また、秋の文化振興展として「永谷光隆展」を開催し、重要文化財の建造物などを会場に、多くの来場者でにぎわった。10月に今年度2回目のまるしえを開催。また11月27日には、コロナ禍で2年間中止していた秋のお茶会を開催。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を活用し、その価値と魅力を市民に周知するだけでなく、当該イベントの事業収入が文化財保護に活かされる仕組みづくりの検討を進める。		

状況を示す写真や資料等



秋の特別展 令和4年11月12日～12月18日



お抹茶(菓子付) 500円
10:00-11:00 20席
14:00-15:00 20席
※菓子は変わる場合がございます

初山宝林寺開運まるしえ

5月15日 日曜日
10:00～15:00
金運のパワースポット 金鳴石があるお寺 入場無料



開運まるしえ 令和4年5月15日、10月30日



秋のお茶会 令和4年11月27日

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
		文化財の保存・活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	浜松地域遺産制度(認定文化財制度)を活用した未指定文化財の発掘及び保護意識の高揚に努めるほか、新規指定の可能性を検討していく。文化財修理にあたっては、文化庁をはじめ、静岡県文化財課、浜松市文化財保護審議会など関係機関、専門家と連携して行うほか、所有者の負担を軽減するため、補助制度を活用するなど、技術的・財政的な支援を行う。特に重要な文化財修理については、個別の保存活用計画策定するなど計画的に行う。文化財周辺環境を整備し、文化財保護と見学環境整備に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
認定文化財を募集し、浜松市文化財保護審議会に意見を聞き、年度末に認定を予定している。各種補助金などを活用し、文化財修理や周辺環境整備を行っている。特に重要な文化財の修理や周辺環境整備にあたっては文化財個別の計画策定を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	認定文化財からの新規指定の可能性を検討する。 文化財価値の維持、魅力向上のための修理・周辺環境整備事業を計画的に進める。		
状況を示す写真や資料等			
○浜松市文化財保護審議会 第1回令和4年8月5日開催、第2回令和4年12月12日開催、第3回令和5年3月3日開催予定			
○認定文化財の募集 浜松市認定文化財活用事業を参照			
○文化財修理、周辺環境整備、個別計画策定 詳細は各事業を参照 <ul style="list-style-type: none"> ・二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業 ・光明山古墳保存活用事業 ・蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト ・浜松城跡保存活用事業 ・三岳城跡保存活用事業 ・歴史的建造物保存活用事業 ・龍潭寺山門保存修理事業 			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財及び文化財保存活用施設の管理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用を行う施設について、老朽化が進んだ施設の再整備、収蔵資料の整理分類を行う。展示・収蔵にあたっては、収蔵品のデジタルアーカイブ化など時代に即した方法の導入を図る。各種補助制度を活用しながら、寺院などへの消防・防犯設備の設置を促進するほか、文化財の保存修理にあわせ、可能な限り、耐震診断と必要に応じて耐震補強工事を行っていく。本市が所有又は管理団体に指定されている建造物について、消防用設備の保守点検を適切に行うなど防災に努め、史跡においては、自然災害への適切な対策を検討し、非常時に備える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
施設や設備の老朽化等に伴う改修・修繕を随時実施し、施設や文化財の保存環境を整えている。文化財の防災設備の修理及び点検を実施し、文化財本体の保存修理にあたっては、事前に耐震診断を行っている。文化財防災ボランティア養成事業は、市内の文化財に関心を寄せてもらい、災害時だけでなく、平常時まで活動範囲を広げ、文化財サポーターとして令和4年12月から募集を開始した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き文化財及び文化財保存活用施設を適切に管理する。		
状況を示す写真や資料等			
○文化財の保存・活用を行う施設の整備・収蔵資料整理 詳細は各事業を参照 ・蛸塚・伊場遺跡再生プロジェクト ・浜松市地域遺産センター整備事業 ・指定文化財等のデジタルアーカイブ事業 ○文化財の防災設備修理・点検、耐震診断・補強工事など防災対策 詳細は各事業を参照 ・二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業 ・浜松城跡保存活用事業 ・龍潭寺山門保存修理事業 ・寶林寺仏殿・方丈管理事業 ○文化財防災ボランティアの養成 文化財防災ボランティア養成事業を参照 ○文化財防火デー実施施設 中村家住宅、舞坂宿脇本陣、博物館			
			
中村家住宅文化財防災デー実施状況			

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度 令和4年度

項目 現在の状況

文化財の保存及び活用の普及・啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

本市が所有又は管理する文化財の公開に努め、市民が文化財に親しむ機会を提供する。市は所有者や保存団体に限らず、広く文化財の担い手との協働を進め、講座・現地説明会などの機会や各種媒体を活用し文化財の魅力を発信する。将来の担い手たる子供たちが地域の伝統行事・伝統芸能に触れ、親しむ機会を創出し、伝統行事・伝統芸能の保存会の活動を活性化し、芸能を披露する機会を提供する。埋蔵文化財包蔵地における開発に係る届出などを周知し、埋蔵文化財の保護を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市が所有又は管理する文化財を公開し、文化財保存活用施設においては収蔵文化財を展示した。文化財の活用・展示にあたり、一部は文化財関係者と協働で事業を実施した。無形民俗文化財の次世代への継承活動を行うとともに、保存会の活動を支援し、情報発信を行った。埋蔵文化財包蔵地における開発においては、埋蔵文化財の保護を図り、発掘調査結果については、出土品を整理し、館内展示や講座を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

引き続き文化財の保存及び活用の普及・啓発を行う。

状況を示す写真や資料等

○文化財の公開・情報発信

- ・所有管理する文化財、文化財保存活用施設に関するもの



旧田代家住宅
令和4年7月16～18日



中村家住宅
令和4年10月14～16日



内山真龍資料館
令和4年12月21～
令和5年3月12日

- ・浜松市地域遺産センターにおける公開・情報発信 詳細は浜松市地域遺産センター整備事業を参照

○無形民俗文化財の次世代継承、活動支援など 詳細は各事業を参照

- ・無形民俗文化財保存・伝承事業
- ・無形民俗文化財公開・活用等事業
- ・無形民俗文化財活性化支援事業

○埋蔵文化財の保護、調査成果の公開 詳細は各事業を参照

- ・浜松市地域遺産センター整備事業
- ・二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業
- ・光明山古墳保存活用事業
- ・浜松城跡保存活用事業

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

	評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史的風致計画を認定 浜松市 県内5例目	令和4年4月1日	静岡新聞
浜松の宝また増えた「市認定文化財」新たに90件	令和4年4月1日	静岡新聞
開拓150年の歴史後世に 三方原の住民ら史跡に看板設置	令和4年4月13日	中日新聞
富士見櫓跡に解説看板 浜松城公園 市設置、平面表示も	令和4年4月15日	静岡新聞
久留女木の棚田保全 北区引佐町 地域振興へ協議会	令和4年4月24日	静岡新聞
浜松まつり2022 3年ぶりラッパ高らか 168町、青空に共演	令和4年5月4日	中日新聞
浜松まつり閉幕 3日間で延べ12万人 “コロナ制限なし”GW終盤	令和4年5月6日	静岡新聞
鹿島の花火 今年も中止 3年連続	令和4年5月17日	中日新聞
赤紫色に咲くサツキ花盛り 北区・龍潭寺庭園	令和4年5月20日	中日新聞
雄踏歌舞伎「お待たせ」西区 2年4ヶ月ぶり定演	令和4年5月23日	静岡新聞
二俣まつりも3年連続中止	令和4年5月23日	中日新聞
家康の長男顕彰「信康の会」総会 天竜区・清瀧寺	令和4年5月27日	中日新聞
浜松城景観より良く 大河ドラマ館建設見据え 樹木伐採説明 中区	令和4年5月29日	静岡新聞
歴史的風致計画で認定証 浜松市長、国交省訪問	令和4年6月2日	静岡新聞
塩害負けないイグサに願い 北区細江神社で苗植え	令和4年6月2日	中日新聞
遠州地方の初盆と盆義理	令和4年6月3日	中日ショッパー
「遺産」の棚田に苗植え 北区・久留女木 住民や支援者交流も	令和4年6月14日	静岡新聞
浜松地域遺産認定候補募る 市、9月末まで	令和4年6月17日	静岡新聞
「遠州大念仏」初盆弔う 3年ぶり 浜松できょうまで	令和4年7月14日	静岡新聞
担い手不足 依頼の減少 遠州大念仏継承ピンチ「450年の歴史続けたい」	令和4年7月14日	中日新聞
「花の舞」の面公開 佐久間ダム建設で消滅山室集落の民俗芸能	令和4年7月15日	中日新聞
浦安の舞児童優美に 浜松・細江神社 例大祭で奉納	令和4年7月17日	中日新聞
文化財保存CFで紡ぐ 遠州織物発祥三ヶ日の神社	令和4年7月19日	中日新聞
二俣まつり心継ぐ 3年連続屋台行事中止も児童らお囃子稽古	令和4年8月21日	中日新聞
遺産デジタル化市民ら作業見学 中央図書館	令和4年8月23日	中日新聞
「川合花の舞」3年連続中止 天竜区佐久間	令和4年8月25日	静岡新聞
横尾歌舞伎無観客で開催 10月8日、北区引佐	令和4年8月30日	静岡新聞
3年ぶり「みさくぼ祭り」盛り上げへ 子どもら囃子の稽古に汗	令和4年9月10日	静岡新聞
信康命日法要キャラも出席 天竜の清瀧寺	令和4年9月16日	中日新聞
若連流し、迫力の演奏 浜松「みさくぼ祭り」盛況	令和4年9月19日	静岡新聞
火伏せの祈り脈々と 秋葉山常夜灯	令和4年10月14日	中日新聞
家康ゆかりの古民家知って 国重文「中村家住宅」コンサート、茶会、書道展示	令和4年10月15日	静岡新聞
「佐久間ダム竜神まつり」30日復活 天竜区	令和4年10月15日	静岡新聞
鳥羽山城跡の公園 清竜中生らが清掃	令和4年10月21日	中日新聞
実りの秋稲刈り取り 北区 久留女木の棚田	令和4年10月24日	静岡新聞
竜神の舞迫力 浜松・佐久間ダムで祭り	令和4年10月31日	中日新聞
「信康さん」登場ゆかりの地PR 天竜産業観光まつり	令和4年11月4日	静岡新聞
三ヶ日みかん「表年」初集荷 AI選果2年目「出来栄上々」	令和4年11月7日	静岡新聞
三ヶ日みかんを伊勢神宮に奉納 北区で神事	令和4年11月12日	静岡新聞
秋葉神社神門彫刻修復、公開 台風で損傷、27日まで	令和4年11月13日	中日新聞
「織殿」修繕支援へ竹灯籠 北区・初生衣神社の市文化財 住民有志「CF協力を」	令和4年11月15日	静岡新聞
重要文化財仏殿など改修完了 浜松・初山宝林寺 屋根ふき替えや耐震補強	令和4年11月18日	静岡新聞
宝林寺で寺宝公開 永谷さん油彩画も 北区・来月18日まで	令和4年11月20日	静岡新聞
ドウダンツツジ龍潭寺で紅葉見頃 きょうからライトアップ	令和4年11月25日	中日新聞
「浦川歌舞伎」堂々と 天竜区の小学校学習発表会	令和4年12月9日	静岡新聞
災厄はらう炎に祈り 浜松・春野「秋葉の火まつり」	令和4年12月17日	静岡新聞
家康ゆかりの地マップに 北区 大河に合わせ「エピソード豊富」18カ所	令和4年12月31日	静岡新聞
「ひよんどり」静かに 北区・直笛山宝蔵寺 舞継承へ練習も	令和5年1月4日	静岡新聞
新春彩る伝統「川名のひよんどり」若衆全身で炎受け止め 浜松 五穀豊穡願う	令和5年1月5日	静岡新聞

家康@ふじのくに ゆかりの自治体総力戦 浜松市 XRで浜松城と街並み再現	令和5年1月6日	中日新聞
西浦の田楽「舞」3年連続で中止 天竜区水窪	令和5年1月9日	静岡新聞
無病息災願い数珠回し 細江で「百万遍念仏」	令和5年1月10日	中日新聞
二俣、鳥羽山城跡見やすく 浜松市来年度から整備へ 天竜区の誘客拠点に	令和5年1月10日	静岡新聞
焼納祭へ正月飾り奉納受け付け開始 浜松秋葉神社	令和5年1月22日	静岡新聞
中心部引き回し4年ぶり開催へ 浜松まつり、組織委決定	令和5年1月25日	中日新聞
はままつ文化財の散歩道	毎月	広報はままつ
維持・向上すべき歴史的風致～三ヶ日みかん編～	令和4年10月号	広報はままつ

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市が関係する令和5年大河ドラマの関連を含め、本市の歴史的風致(構成する建造物や活動等)に関する内容が多数報道された。一方、コロナの影響により伝統行事(歴史的風致を構成する活動等)が中止される旨の報道も多数あった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	<p>市が直接関与する事業や取組の周知については、各メディアへの戦略的な広報が必要である。今後、デジタルマーケティングなど効果的な手法を検討する。</p>

状況を示す写真や資料等

広報はままつ 令和4年9月号
はままつ文化財の散歩道

広報はままつ 令和4年10月号
出世大家家康くんのお出かけ日記

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

住民意識や認知度の向上

計画に記載している内容 市民や来訪者が歴史的風致の価値を知り、認識を向上するためには、歴史的風致を構成する文化財への理解を深めることが重要である。継続的な調査研究、情報収集・発信、公開・展示、普及啓発を行うことで、文化財など歴史的風致の認識を積極的に高めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・本市固有の歴史資源・文化資源が一体となって醸し出される風情・情緒・たたくまいを維持・向上させ後世に継承していくため、地域の歴史文化に対する価値観の大きさを定量的に捉える広聴モニターアンケート調査を実施した。
- ・10年に及ぶ「歴まち計画」の取組み段階に応じた効果(アウトカム)を定量的に計測するため、市民アンケートを実施し、仮想市場評価法(CVM)による歴史的風致の経済評価を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

若年層は浜松市の歴史や文化に対する関心の高さがほとんどの分野について市民全体の平均値を下回り、歴史的風致の継承への懸念が浮かび上がる。若年層を対象として活動に触れる機会の創出を図り、地域への愛着や誇りを育むことにより将来の担い手の育成を図る。

状況を示す写真や資料等

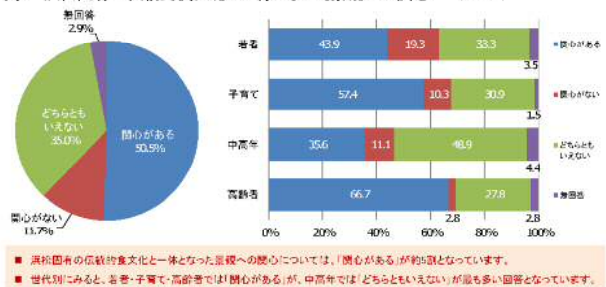
<広聴モニターアンケート>

調査テーマ 伝統的食文化と景観について

調査実施概要

- (1)調査地域 浜松市内
- (2)調査対象 広聴モニター 231人
- (3)調査方法 質問紙郵送法及びインターネット回答
- (4)調査期間 令和4年8月9日～8月23日

■問1 浜松固有の伝統的食文化と一体となった景観への関心 (N=206)



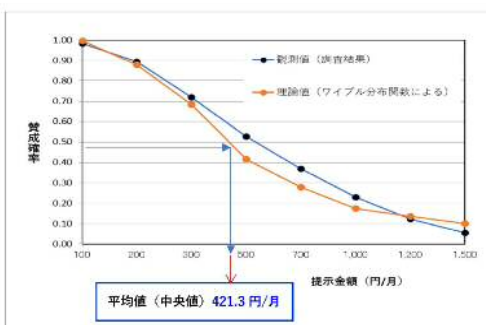
<仮想市場評価法(CVM)による歴史的風致の経済評価>

- 1. 調査実施者 浜松市 都市整備部 土地政策課(歴史まちづくりグループ)
- 2. 調査期日 令和4年10月6日～10月31日
- 3. 調査対象者 浜松市の18歳以上の居住者1,000人(外国人を除く)
- 4. 標本の抽出 標本調査法に基づく等間隔無作為抽出法に拠る
- 5. 調査票の送付・回収 郵送法に拠る(回収期限:令和4年10月31日)

表2-1-3 歴史的風致に対する関心(年代別)

	年代別回答数(構成比) ※計は年齢不詳1名を含む								年代計 補正値
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
1. 関心がある	18.8%	30.8%	37.8%	42.5%	52.4%	65.0%	66.7%	49.5%	45.3%
2. 関心がない	37.5%	23.1%	10.8%	2.5%	12.7%	3.3%	16.7%	11.7%	13.9%
3. どちらともいえない	43.8%	46.2%	51.4%	55.0%	34.9%	31.7%	16.7%	38.8%	40.8%
無回答	0.0%	0.0%	2.7%	2.5%	1.6%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%
計(無回答を除く有効回答)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(参考)関心がある分野の回答者数	87.5%	92.3%	91.9%	90.0%	92.1%	96.7%	90.0%	92.3%	91.7%

図4-3-1 浜松市の歴史的風致に対する価値観(支払い意思額 WTP)の1人あたりの平均値(中央値)を求める(仮想市場評価法:CVMによる)



【結論】

浜松市の12の歴史的風致に対する18歳以上の浜松市民の価値観は総額で15億300万円にのびります。

- ・18歳以上浜松市民人口 672,383人(令和4年9月1日現在、住民基本台帳) A
- そのうち、公共的価値があると答えた人の割合 61.6% B
- そのうち市民の拠出に賛成と答えた人の割合 71.8% C
- ・支払い意思額に賛成した人数(=A×B×C)=297,213人(Aの44.2%)
- ・1人あたり平均支払い意思額は、421.3円/月(5,056円/年)でした。

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度 令和4年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称： 浜松市歴史的風致維持向上協議会
 会議等の開催日時： 令和5年2月21日(火) 15:00～16:00
 開催場所： 浜松市役所 101・102会議室

(コメントの概要)

【①組織体制】
 <文化財課が事務局でなくなったことについて>
 ・計画の内容を進めていく際、文化財課とコラボしていく必要がある。
 ・本計画の運営に関しても、文化財課と土地政策課の両課が両輪となって進めていくことが良い。
 ・歴まち法は、国土交通省、農林水産省、文化庁の三省庁共管の法律であり、連携して取り組んでいくことが重要なものである。連携した取組みを今後も期待したい。[オブザーバー]

【②重点区域における良好な景観を形成する施策】
 特になし

【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】
 特になし

【④文化財の保存又は活用に関する事項】
 特になし

【⑤効果・影響等に関する報道】
 特になし

【⑥その他(効果等)】
 <仮想的市場評価法(CVM)による歴史的風致の経済評価について>
 ・「歴史的な価値」を市民が出すことができるお金で換算してまとめられているが、本当にそれだけで良いのかという疑問が残る。
 ・市民の間で、今後税金が上がるのではないかとと思われるのではないかと。調査であることを十分に示すべきである。
 ・次世代に継承していく歴史的資産など、見えないものに対する価値があるのではないかと。お金だけで「歴史的な価値」を判断するのは、十分ではない気がする。
 ・15億300万円という金額が出ているが、どういった意味を持つ数字なのか。「価値観」という意味が上手く伝わってこない。
 ・予算として15億円程度は使っても良い数字なのか。他都市はどうなのかという比較対象もない。
 ・価値を可視化するのは面白いと思うが、結果として出されている金額はどのような意味を持つものなのか疑問が残る。
 ・CVM(仮想的市場評価法)は、市場原理や流通に乗らないものを評価する際に用いる手法の一つとして、学術的に確立されているものである。[オブザーバー]
 ・結果(金額)は目安として扱い、どのように政策に活かすかは今後の検討であると思う。[オブザーバー]



▲協議会の様子